

避難の心得

津波の発生を察知する

1. 地震の発生

震度4以上の地震が発生した時
ゆっくりとした揺れが長く続く時

2. 海面の異変

急な引き潮が起きた時

3. 津波警報の発表

テレビやラジオ、インターネットで
津波警報などが発表された時

4. 避難の呼びかけ

防災行政無線（サイレンが鳴ります）や
防災メールの呼びかけがあった時

気づいたら
すぐに避難！



適切に避難する



一刻も早く高い所へ逃げる！

原則として車は
使わない

引き波が無くても
津波は来る



POINT

津波の発生の際は、いち早く
高台へ避難すること。

自分の生活する場所の特徴を理解し、高台（標高
の高い場所）はどこか予め把握しておきましょう。

想定する地震と震源域

このハザードマップは、神奈川県が平成27年に津波
浸水予測の見直しを行った結果である、以下の9つの地
震による津波をもとに作成しています。



なお、神奈川県の津波浸水想定は、県が一定の条件に
従って、予測を行った結果であり、津波の浸水が予測さ
れる区域を示したもので、津波による災害の発生や被害
の範囲を決定するものではありません。（浸水区域の範
囲外でも、津波の浸水が発生する場合があります。）

神奈川県は、これらのうち県の沿岸地域における「津
波の高さ」または「浸水域」が最大となる、5つの地震に
よる「津波浸水想定図」を公表しています。

「津波浸水想定図」や地震別の浸水区域や浸水深を記載
した「津波浸水予想図」は神奈川県のホームページ等で
確認してください。

大津地域運営協議会災害対策検討部会
（大津行政センター内）
TEL. 046-836-3531

令和4年3月

このマップは、横須賀市津波ハザードマップを引用して作成しました。

大津地区

津波から 身を守るために —— いち早く高台へ避難



大津地域運営協議会災害対策検討部会

保存版

津波の特徴

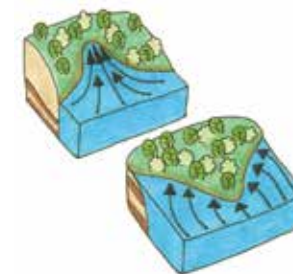
繰り返し
襲ってくる



深海では
ジェット機並みの
猛スピード



地形による
津波の変化



河川の遡上
（逆流）



恐るべき
津波の破壊力



水深が浅くても
足元をすくわれます



POINT

津波被害を軽減するためには、
自分の命は自分で守るという
「自助」の取り組みが重要です。

大津地区 津波ハザードマップ(標高マップ)



いち早く高台へ避難

